

はじめに

前月号の「はじめに」で、「敷居が高い」という慣用句について書きました。「敷居」を和英辞典で引けば threshold と出てきます。伝統的な日本家屋における敷居は「門戸の内と外とを区別するために敷いた横木」(『精選版 日本国語大辞典』)のことなので、それが高すぎれば中に入りにくいということです。

しかし、ドアを開けて入る洋風の家屋の「入口」には、高低差は通常ありませんから、「敷居が高い」を the threshold is high と訳してもイメージをつかんでももらえないでしょう。

また、threshold には「出発点」とか「発端」といった意味があり、at the threshold of a new era は「新しい時代の始まりに」ということです。

threshold は心理学・生理学用語としては「^{いき}閾」のことで、「刺激の有無や変化に対して反応が出現ないし移行する境界点」(『ジーニアス英和大辞典』)を意味するのだそうです。

先日、定期的にも送られてくるアメリカのプロレスの動画を見ていたら、あるレスラーについてアナウンサーが He has a high threshold of pain. と言っていました。「痛みを感じにくい人」といった意味です。プロレスラーによっては、痛みに対してよく耐えることができる人とそうでない人がいるのでしょうか。不思議な気がしました。

昨年、CNN や BBC などのニュースでよく耳にしたのは cross the threshold というフレーズです。アメリカの大統領選挙の結果が混迷を極め、共和党の現職大統領のトランプ候補と、民主党の前副大統領のバイデン候補のどちらが、当選に必要な選挙人の過半数の 270 票を獲得するのか、という際に使われたものです。この場合、cross the threshold は「過半数を超える」という意味です。

しかし私の場合、最も強く印象に残っているのは、アメリカで入社した PR 会社の社是に相当する Vision and Values に出てきた threshold です。

そこにはこう書いてありました。Ours is a demanding business. High energy, hard work, even a high threshold of pain are constants at [our firm].

demanding は「きつい」「過酷な」「大変な努力を要求される」といった意味です。クライアントからも会社からも多くのことを要求されるビジネスだということ。そこで求められているのは、「高いエネルギー、勤勉さ、それに痛みに対する高い耐性」です。

仕事を痛みと感じても、それを乗り越えていけるぐらいの精神力がなければ、この会社ではやっていけない、という厳しい状況を表現しています。

2021年2月 杉田 敏